

視覚障がい教育 学習会をしました！

令和6年9月
福岡県立柳河特別支援学校

8月に、視覚障がいのある子どもに関わる方を対象として、学習会を行いました。近隣の学校や施設から、5名の方が参加しました。

① 「見えにくさ」の体験

シミュレーション用のめがねをかけて、白く濁った見え方や、狭い視野での見え方の体験を行いました。参加者の方は、見えにくいだけでなく、視覚情報が得にくいもどかしさや、疲れも体感しました。しかし、場面によっては難なくできることや、少しの工夫があればできることがあると、知ることができたようです。

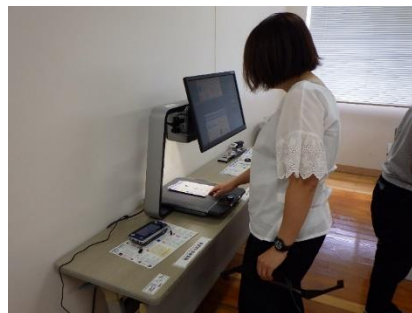


何を見ているかわかりますか？

答え：ゾウの迷路

② 教材・教具の紹介

文字を拡大して見るための機器や、見えにくさがある方が使いやすいノートなどを紹介しました。市販品や自作の教材などを見て、どんな工夫や支援があれば、学習や生活がしやすくなるかを、一緒に考えました。



③参加者どうしの情報交換

普段の困りごとや悩みを話しました。普段関わる子どもの、学習に関する悩みや、対人関係での悩みなど、話題は尽きませんでした。

参加者の方からは「同じ悩みを持つ方がいると分かって、気持ち楽になった」との声を頂きました。

